

**製品名: MMP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21168**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:74kD;Observed MW:64kD

**抗原情報**

遺伝子名	MMP2
別名	MMP2;CLG4A;72 kDa type IV collagenase;72 kDa gelatinase;Gelatinase A;Matrix metalloproteinase-2;MMP-2;TBE-1
遺伝子 ID	4313.0
SwissProt ID	P08253
免疫原	ヒト MMP2 の合成ペプチド

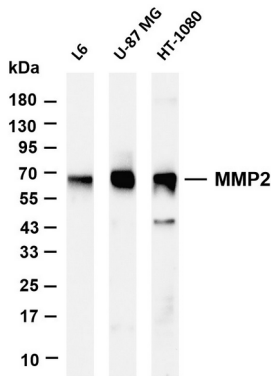
**背景**

細胞局在:細胞質、核。マトリックスメタロペプチダーゼ 2 (MMP2) Homo sapiens この遺伝子はマトリックスメタロプロテアーゼ

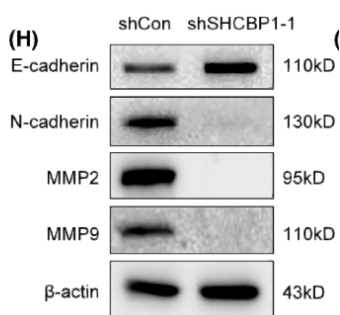
(MMP) 遺伝子ファミリーのメンバーで、細胞外マトリックスの成分やシグナル伝達に關与する分子を切断できる亜鉛依存性酵素です。この遺伝子によってコードされるタンパク質はゼラチナーゼ A、IV型コラーゲナーゼで、その触媒部位に3つのフィブロネクチンタイプIIリピートを含み、変性したIV型、V型コラーゲンとエラスチンの結合を可能にします。ほとんどのMMPファミリーメンバーとは異なり、このタンパク質の活性化は細胞膜上で起こります。この酵素は、細胞外でプロテアーゼによって活性化されるか、または細胞内でS-グルタチオン化によってプロドメインのタンパク質分解による除去を必要とせずに活性化されます。このタンパク質は、神経系、子宮内膜の月経崩壊、血管新生の調節、転移における役割を含む複数の経路に關与していると考えられています。この遺伝子の変異はWinと關連している。

## 研究分野

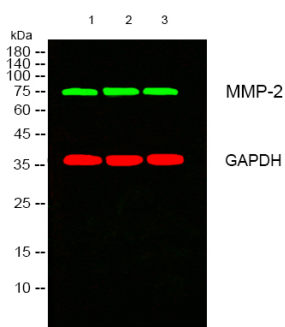
## 画像データ



様々な全細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜を抗MMP2抗体でブロッキングした。抗体の検出には、HRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。



WB ヒト 1: 1000 A549 細胞



1) 3T3、2) Jurkat、3) HT29 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。(緑) MMP2 ウサギモノクローナル抗体を1:1000に希釈し、4で一晩処理した後、二次抗体を1:10000に希釈し、37で1時間処理しました。(赤) GAPDHモノクローナル抗体をローディングコントロールとして1:5000に希釈し、4で一晩処理した後、二次抗体を1:10000に希釈し、37で1時間処理しました。

